

令和6年度 公益財団法人大分県スポーツ協会 臨時評議員会

日時：令和6年5月15日（水）10時30分～

場所：大分センチュリーホテル 「桜の間」

出席者 (45名)	堤 聖一	行村 豊喜	河野 義樹	竹丸由香里	五所 睦雄
	結城 順史	軸丸 秀樹	今村 泰三	島村 浩信	姫野 雅道
	佐藤 公隆	米津 康広	矢田 哲司	森 留雄	升巴 正博
	高野 初雄	安東 夏行	安藤 和宏	三宅 文子	三澤 博文
	宮本 達美	吉田 友春	矢津田博明	高山英一郎	藤本 学
	渡邊真由美	伊藤 進	千鳥 安雄	八坂 一範	東 海斗
	秋吉 常博	檜原 靖昭	清家 義浩	川野 明寿	久保 芳久
	植田 克己	後藤 方彦	大富 義徳	佐藤 寿幸	坂本 猛芳
	清原 俊樹	芝尾 文徳	志賀 一哉	園田 啓助	北崎 匡

欠席者 (22名)	高橋 伸介	石川 義隆	安東 英児	奥村 正二	大塚 正士
	塚田 清隆	水之江 浩	波津久郁生	大石 祥一	安部 定文
	原 勇人	山田 昌信	戸高 元貴	高柳 優子	大田 和代
	得丸 清	園田 隆洋	高橋 和孝	鶴崎 清貴	川辺宏一郎
	松原 正吾	塚崎 一孝			

議事録作成者 専務理事 佐保宏二

資格確認 押田総務部長が出席者45名で、定数の過半数の出席であることから、本会定款第22条により本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

押田総務部長が開会のあいさつを述べた。

2 あいさつ

佐保専務理事があいさつを述べた。以下あいさつ文。

本日は、評議員会を開催しましたところ、皆様方には御多用な中、御出席をいただき感謝申し上げます。また、平素から、本県のスポーツ振興並びに本会の諸事業の推進に格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

大分県スポーツ協会は、人事異動等により交替された新評議員をお迎えし、本年度のスタートを切りました。この1年、皆様方とスクラムを組んで本県のスポーツ振興に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本会の本年度の重点的取組事項であります、国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策についてですが、本年、佐賀県で開催されます第78回国民スポーツ大会において、チーム大分は、2年連続天皇杯得点1,000点を目標にしております。この目標を達成するには、まずは今週末から8月末まで宮崎県で開催される、九州ブロック大会において、1つでも多くの代表権を獲得することが何より重要となります。各競技団体におかれては、引き続き、競技力向上の取組み推進をお願いします。

また、近年、地域におけるスポーツ活動のあり方が大きな変革期を迎えており、中でも、中学校運動部活動の地域移行については、本年度から各市町村で具体的な取組みがスタートします。今後の移行にあたっては、設置者である市町村や学校と、市町村スポーツ協会加

盟団体、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等との連携・協力が必要になることも十分考えられます。子供たちにとって望ましいスポーツ環境を構築するためにも、皆様の御協力をお願いいたします。

加えて、今年度は、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりに向けた、「No！スポハラ」活動にも力を入れてまいりますので、こちらにつきましても、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

本日は、役員の選任が主な議題となっております。限られた時間ではございますが、皆様方には十分な御審議をいただきますようお願い申し上げ、あいさついたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 議長選出

本会評議員会規程第3条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員互選により選任する。」に従い、押田総務部長が議場へ諮ったところ、事務局に一任するとの声が挙がった。そのため事務局案を以下のとおり提案し、全会一致で承認された。

大分陸上競技協会理事 竹丸 由香里 氏

評議員会議事録の署名については、本会定款第23条第2項に「議長は議事録に記名押印する」と明記されている旨を伝えた。

《竹丸氏よりあいさつをいただいた》

以下、竹丸議長による進行

4 報告事項

以下の報告事項について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

- (1) 評議員の変更について
- (2) 中期経営計画の進捗状況について

【(1) 評議員の変更について】

それでは、報告事項(1)の公益財団法人大分県スポーツ協会評議員の変更について御説明いたします。

レジュメ1ページをお開きください。本会評議員につきましては4年間の任期となっており、今年度が2年目でございます。改選期ではございませんが、年度末の人事異動等により、7名の評議員から辞任の申し出がございました。それに伴い、新たな評議員をそれぞれの所属団体から推薦していただき、4月24日に開催しました評議員選定委員会において、新たな評議員として選出いたしましたことを御報告いたします。

新たな評議員は、評議員名簿の黄色い網掛けの方々でございます。本日は県ソフトテニス連盟の塚田委員、東国東郡体育協会の松原委員は欠席でございますが、折角ですので、御出席いただいた新たな委員の方々に、一言御挨拶いただきたいと思います。名簿順で剣道連盟の安東委員からお願いいたします。

《新評議員よりあいさつをいただいた》

ありがとうございました。本年度から残任期間となる3年間の任期となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

評議員の変更については、以上でございます。

【(2) 中期経営計画の進捗状況について】

別冊資料の中期経営計画2023-2027を御覧ください。昨年度の第2回理事会で決定いたしました本計画ですが、5年計画の1期目を終了しましたので、再度、内容及び、第1期終了時点での進捗状況について御報告いたします。

1ページに記載の通り、本計画は、「本会について」、「計画の位置づけ・策定趣旨」、「中期経営計画2018-2022の実績」、「本計画の財政基盤の確立」、「経常収益増に向けた具体案」、そして本会の「ミッション、ビジョン、バリュー」、その具体策となる「重点項目4点」から成り立っております。

2ページを御覧ください。まず、本会についてでございますが、昭和21年10月に大分県体育会としての発足から、定款に示されている第3条の本会の目的、第4条の本会の事業などをお示ししております。

3ページをお開きください。計画の位置づけ、策定趣旨でございます。まず、計画の位置づけとしては、(1)に記載の通り、日本スポーツ協会の方針や、第2期大分県スポーツ振興計画を鑑みた計画としております。また、(2)に記載の通り、中期経営計画2018-2022では、それまでの赤字決算を解消すべく経営状況に主眼を置いた計画として、事業の見直し、経費節減をはじめ、加盟分担金の改定や賛助会員の増加に取り組み、経営状況の改善を達成したと位置づけました。

4ページには、実績の詳細を記載しております。左上に赤枠で囲っております通り、最終年度であります2022年度の経常収益は、目標を178万2千円上回る、2368万9千円でございます。

3ページ(3)にお戻りください。策定趣旨でございますが、中期経営計画2023-2027では、新たな時代に応じた多様なスポーツニーズに対応することが求められていることから、更なる財政基盤の確立を図り、新たな組織体制の整備をする中で、重点項目の達成に取り組むものいたしました。更には、(4)スポーツ団体ガバナンスコードを踏まえ、本計画を策定し公表することとしております。

次に6ページをお開きください。本計画の財政基盤の確立についてでございます。表左側に記載の通り、地域スポーツを取り巻く環境は大きな転換点にあり、本会はこれまで以上の役割を担うために、新たな財源を持って新たな事業展開、また業務体制の構築を図り、最終的には賛助会費1000万円を目標としております。それに向けた取り組みとして、3点お示ししております。下段記載のスケジュールでは、昨年の第1期は、これまでの賛助会制度を推進しながら、パートナー企業制度の研究となっております。具体的な進捗状況でございますが、昨年度は都道府県で人口順位上位10県と九州各県のスポーツ協会の賛助会員制度の調査を実施いたしました。各県スポーツ協会の様々な取り組み事例を研究し、ケーススタディに取り組みました。その他にも新たなパートナー企業制度の創設に向けて、県内企業とのヒアリングを実施し、企業側からのアドバイスもいただきました。更には、実際に企業協賛に取り組んでいたトリニータ前社長でありました榎徹氏にもヒアリングを実施し、貴重な御助言をいただくことができました。以上御報告しました通り、第1期は計画通り実施いたしました。後ほど、その他の項目の中で、新たなパートナー企業制度の詳細について御報告いたします。

次に8ページをお開きください。本会のミッション・ビジョン・バリューでございます。ミッションは存在意義・使命を、ビジョンは2027年に目指す姿を、バリューは、ミッション・ビジョン達成のための重点項目を示すものと定義しております。本会は、自分らしくスポーツを楽しめる地域社会の創造を使命として、2027年には、スポーツを「する・みる・支える」ためのハブとなり、地域スポーツ活性化のエンジンとなることを目指します。その達成に向けた重点項目を、4つ設定いたしました。

それでは各項目の第1期の取り組み状況、実績を御報告いたします。

10ページをお開きください。重点項目1は、世界に羽ばたく選手の育成でございます。具体的施策としては、国民スポーツ大会に向けた競技力向上を通じて、世界に挑む選手を育成するものでございます。重点的な取り組みとして3点取り組んでいます。また、下段のスケジュールにつきましては、平成20年に開催されました大分国体以降、本県の選手育成システムが確立していることから、毎年の取り組みをPDCAで回しながら実施しておりますため、5年間を通じた取り組みとなっております。具体的取り組みを1点御紹介いたします。3つ目の取り組み項目の中に、ジュニア選手の発掘を支援するとございますが、昨年度の第1期は女子サッカーやカヌー、スキー、空手道など、12団体で新たな選手の発掘に向けた事業を実施したことを御報告いたします。

11ページをお開きください。重点項目2は、スポーツ少年団組織の発展でございます。具体的施策としては、スポーツ少年団リーダー活動の推進に取り組んでおります。スポーツ少年団リーダーとは、指導者と選手の間で、選手の活動を支える役割を担う者としております。スポーツ少年団組織の発展には、指導者の確保が最重要課題でございます。小学校6年生でスポーツ少年団を卒団するのではなく、その後も少年団に在籍し、選手として、また将来的には指導者として活躍できる人材を育成することを目的としております。下段スケジュールにございますように、第1期はリーダー制度の周知に向けたリーフレットの作成および、リーダーの受け皿として、大分リーダークラブ設立を計画し、予定通り実施いたしました。大分リーダークラブについては、9名の新規会員が加入し、活動を始めました。また、第2期となる今年度は、リーフレットを全市町村を通じて少年団に配布する予定でございます。

次に重点項目3は、総合型地域スポーツクラブの充実でございます。具体的施策としては、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の登録認証制度の促進でございます。重点的な取り組みとして3点取り組んでいます。下段のスケジュールにつきましては、第1期は主に2点ございました。1つは、登録認証のメリットを創出するために、連絡協議会としての新規事業である、ブラッシュアップ研修会を立ち上げ、長崎県へ先進クラブの視察を実施いたしました。2つ目は、総合型地域スポーツクラブの運営資格となる、クラブマネジャー、アシスタントマネジャー養成事業を、県スポーツ協会に移行するとしていました。これまでは他の組織が取り組んでいましたが、今年度から養成事業を本会に移行し、クラブ運営に携わる人材の育成に積極的に取り組むこととしております。なお、最下段にございますJSPPO認証制度の策定でございますが、JSPPOとは日本スポーツ協会のことで、現在、認証制度の策定途中ということでございます。策定次第、県内クラブに周知したいと思います。

13ページをお開きください。重点項目4は、スポーツ医科学の更なる普及でございます。具体的施策としては、ライフステージに応じたスポーツ医科学の活用でございます。重点的な取り組みとして3点取り組んでいます。中でも、取り組みの2段目に記載しております医科学研修講座の活用促進でございますが、昨年度は、多志向・多世代の方々を対象として、県内各地で医科学研修講座を全11回開催いたしました。研修の講師には、本会医科学委員会委員の方々にも御協力頂き、医科学のエビデンスに基づいた内容を御講義いただいたり、実際に身体を動かしながら御指導いただきました。以上が重点項目の御報告でございます。

14ページには、本会の組織図を掲載しております。財政基盤の確立の具体的取り組みの中でも示しておりますが、新たな時代に対応できる事務局体制の構築にも取り組みます。組織図の左下に示しています通り、現在、事務局は職員8名と総合型クラブアドバイザー1名の計9名体制でございます。先程から御説明の通り、取り組むべき内容は増加の一途でございますが、事務局体制は従来から変わっておりません。職員増の実現に向けても、関係各所と協議し、様々な方法を探り取り組んで参りたいと考えております。

中期経営計画の進捗状況については以上でございます。

《竹丸議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

5 議事

以下の議案について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

議案1 令和6年度公益財団法人大分県スポーツ協会役員の選出について

【議案1 令和6年度公益財団法人大分県スポーツ協会役員の選出について】

それでは、議案1の令和6年度公益財団法人大分県スポーツ協会役員の選出について御説明いたします。レジュメ2ページを御覧ください。

役員となる理事・監事につきましては2年間の任期となっており、今年度は改選期ではありませんが、年度末の人事異動等により、6名の理事・監事から辞任の申出がございました。表左側記載の6名が辞任され、新たな役員につきましては、辞任された方々の所属団体から推薦されました。役員等推薦委員会において、書面決議し、役員候補者として正式に選出いたしました。読み上げて御提案いたします。

理事候補者として、

- ・山田 雅文（大分県教育委員会教育長）
- ・衛藤 幸司（豊後大野市スポーツ協会理事長）
- ・藤原 直也（佐伯市スポーツ協会事務局長）
- ・板井 靖之（大分県中学校体育連盟会長）
- ・三浦 誠二（大分合同新聞社運動部長）

監事候補者として、

- ・黒木 宏一（国東市スポーツ協会事務局長）

以上、御提案いたします。御審議の程、よろしくお願いいたします

《竹丸議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《竹丸議長が、上記の件について承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

6 その他

以下のことについて宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

- (1) 令和6年度事業計画及び収支予算について
- (2) 第44回九州ブロック大会及び第78回国民スポーツ大会日程・会場について
- (3) 第77回大分県民スポーツ大会日程・会場について
- (4) 第72回大分県高等学校体育大会日程・会場について
- (5) 令和6年度全国高等学校総合体育大会日程・会場について

- (6) 第62回大分県中学校総合体育大会日程・会場について
- (7) 令和6年度賛助会員の募集について

【(1) 令和6年度事業計画及び収支予算について】

レジュメ3ページをお開きください。(1) 令和6年度事業計画及び収支予算について御説明いたします。令和6年度の事業計画及び収支予算については、3月22日開催の令和5年度第4回理事会において承認され、その後の臨時評議員会にて既に御説明したところでございます。既に4月1日からの事業を進めているところですが、今回は新たな評議員がいらっしゃることから、改めてお示しいたします。

レジュメ3ページ、4ページは、事業計画でございます。4ページ中段に記載しておりますが、今年度はスポーツ少年団関係で、令和7年3月28日～30日にかけて、第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会を本県で開催いたします。昨年度、準備委員会を立ち上げ、今年度9月に実行委員会へ移行し、万全の体制で準備を進めていきます。その他の事業については後刻御覧ください。

次に、5ページから10ページが収支予算になります。A3縦の概要版は、3つの公益目的事業会計と法人会計をまとめて示したものとなっておりますので、こちらの資料で御説明いたします。尚、表の両端に記載しています数字は行数を示すものでございます。

中段48行目の経常収益計が、収入の合計金額で3億351万4千円、71行目の経常費用計が支出の合計金額となり、3億650万3千円、77行目の当期経常増減額計が、公益目的事業会計と法人会計の全体の収支金額となっており、今年度は298万9千円赤字の予算編成となっております。赤字予算の主な内容については、先程も御説明しました、全国スポーツ少年団剣道交流大会の開催経費や、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の事業増などでございます。令和3年度までの本会の黒字に伴い、公益法人の収支相承の観点から、収益を公益目的事業に還元したものでございます。

7ページから10ページは公益目的事業会計と法人会計それぞれの予算書となっております。後刻御覧ください。事業計画・収支予算については、以上でございます。

【(2) 第44回九州ブロック大会及び第78回国民スポーツ大会日程・会場について】

【(3) 第77回大分県民スポーツ大会日程・会場について】

【(4) 第72回大分県高等学校体育大会日程・会場について】

【(5) 令和6年度全国高等学校総合体育大会日程・会場について】

【(6) 第62回大分県中学校総合体育大会日程・会場について】

レジュメ11ページ～12ページを御覧ください。今年度、宮崎県で開催されます第44回九州ブロック大会の日程・会場一覧でございます。11ページに前期競技日程、12ページには後期競技日程、12ページ最下段には冬季大会の日程が掲載されております。

13ページから14ページは、第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の大会日程と会場一覧でございます。10月5日の総開会式からスタートして、11日間の日程で開催されます。詳細については後刻御覧ください。

15ページには、(3) 第77回大分県民スポーツ大会の日程・会場地について、16ページには、(4) 第72回大分県高等学校総合体育大会日程・会場地について、17ページから18ページには、(5) 令和6年度全国高等学校総合体育大会日程・会場について掲載しております。全国高等学校総合体育大会につきましては、北部九州4県の福岡県、佐賀県、長崎県、大分県が主な会場となっており、大分県では水泳、バレーボール、相撲、柔道、剣道、テニス、自転車、なぎなた、カヌーの9競技10種目の開催が予定されております。御都合つきましたら、是非会場に足をお運びいただき高校生の熱い戦いを御観戦いただければと思います。19ページには、(6) 第62回大分県中学校総合体育大会の日程・会場を掲載しております。

【（７）令和６年度賛助会員の募集について】

最後に、２０ページを御覧ください。（７）令和６年度賛助会員の募集についてでございます。先程御報告しました中期経営計画２０２３－２０２７の中で、２０２７年（令和９年）に、１０００万円の賛助会費確保を目標とすると策定いたしました。その実現に向け、令和６年度から新たな賛助会員制度を構築し、取り組んでいるところでございます。

中段記載の会費（毎年度）の欄を御覧ください。これまでは、②の法人会員と③の個人会員の２つの会員制度でございましたが、今年度から①のパートナー会員を設け、５０万円以上をプラチナパートナー、２０万円以上をゴールドパートナー、１０万円以上をオフィシャルパートナーと致しました。パートナー会員については、これまでも実施してきました本会ＨＰへの広告バナー掲載の他、本会主催である、スポーツ少年団駅伝交流大会での看板広告の設置や各種会議資料への広告掲載、名刺等へのロゴマーク記載等をいたします。

なお、昨年度の賛助会費は過去最高額となる、７０２万円でございます。現在、部活動の地域移行をはじめ、日本のスポーツ界は変革期でございます。本会に求められることも年々増加し、それに伴う予算の確保が喫緊の課題でございます。唯一の自主財源がこの賛助会員制度になりますことから、引き続き、自主財源の確保に向けて、賛助会員の募集に努めてまいりたいと思います。評議員の皆様方におかれましても、本年度も御協力くださいますようお願い申し上げます。

その他については、以上でございます。

《竹丸議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《竹丸議長が、その他発言がないか、議場に投げかけた》

米津評議員

先般、宮城県の村井知事が、国民スポーツ大会の廃止も含めた見直しについて、発言があった。今後、検討委員会が設置されるということだが、沖縄県で２０３４年の開催が終わった後、３巡目になるかと思いますが、そのことについて何かわかっていることがあれば教えていただきたい。

宮成常務理事兼事務局長

全国知事会会長から発言、また各都道府県の知事も、定例記者会見等の中で発言がっております。本県佐藤知事も、大会意義は十分承知しているが、大会自体の見直しは常に行っていく必要があると御発言されている。日本スポーツ協会では、プロジェクトチームを立ち上げ、その中に全国知事会のメンバーを入れて協議すると聞いている。

日本スポーツ協会からは、国民スポーツ大会の在り方について、毎年アンケート調査が来ており、我々も、国民スポーツ大会の意義を謳いながら、大会の在り方を適宜見直して欲しいと回答している。

三澤評議員

どこかのタイミングで、評議員会などで国民スポーツ大会に特化した意見聴取をしていただきたい。

宮成常務理事兼事務局長

中央競技団体を通じての意見聴取等があるかと思うが、いただいた御意見を参考に、事

務局でも検討していきたい。

7 閉会のことば

押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和6年5月15日

議長 竹丸 由香里